厚生連医誌　第24巻　1号　25～30　2015

原　著

当院における産科食とお祝い膳に関する褥婦に対するアンケート調査

新潟医療センター、栄養科；管理栄養士

霜鳥　知子、片桐　牧子、小坂　浩子、大瀧　智子

目的：新潟医療センターでは平成25年４月から産科開設に伴い、産科食とお祝い膳の提供を行っている。患者様に喜ばれる食事が提供されているか現状を把握することを目的として調査を行った。

方法：当院で出産された方全員を対象として調査を行った。朝・昼・夕のお食事、15時20時のおやつ、お祝い膳の量・味付け・内容、また、全体について回答を求め、結果を検討した。
産科食とは、授乳婦が授乳期間中に妊娠前と比べて余分に摂取すべきと考えられるエネルギー量を付加し、母乳含有量を基に児の発育に問題ないと想定される栄養量を満たしたものである。当院産科食は、平均エネルギー2200kcal たんぱく質85g である（写真１）。
お祝い膳とは、児が誕生したことを祝うごちそうのことである。当院お祝い膳は、エネルギー800kcal たんぱく質30g である（写真２、３）。

成績：対象集団の64％が全体について満足しているとの回答が得られた。お祝い膳の味付けでは、対象集団の100％が丁度良いとの回答が得られた。

結論：全体で満足してくださっている方が多かった。今後もアンケート調査をしながら心のこもった食事提供をし、喜んでもらえるよう取り組む必要があると思われる。

キーワード：産科食、お祝い膳、病院食に関する満足度、アンケート調査

緒　　言

新潟医療センターでは、より安心できる医療提供をめざし、平成25年４月より産科を新たに開設した。最新の分娩施設と快適な病室にて、安心した出産と回復ケアを充実させている。栄養科としても産科食とお祝い膳の提供を行っている。患者様に喜ばれる食事が提供されているか現状を把握することを目的として調査を行った。

対 象 と 方 法

平成25年４月から平成26年９月時点の当院で出産された方44名（19歳～40歳）を対象としてアンケート調査を実施し、最終には有効回答の得られた33名を対象とした（75％）。アンケートの主な内容は、朝・昼・夕のお食事、15時20時のおやつ、お祝い膳の量・味付け・内容と全体についてであった。

結　　果

朝・昼・夕のお食事についての量では、丁度良いが23名(70％)、多いが７名(21％)、少ないが３名(９％)であった(図１)。味付けは、丁度良いが29名(88％)、濃いは０名であった（図２）。内容については、普通が19名(58％)、よいが14名(42％)、悪いは０名であった（図３）。

おやつの量については、丁度良いが27名（82％）であった(図４)。内容については、普通が17名(52％)、よいが13名（39％）であった（図５）。

お祝い膳の量については､丁度良いが20名(61％)､多いが13名（39％)、少ないは０名であった（図６）。味付けでは､33名（100％）すべてが丁度良いとの回答が得られた(図７)。内容については、良いが25名(76％)、普通が11名（24％)､悪いは０名であった（図８）。

全体では、満足が21名(64％)、普通が11名(33％)、不満は０名であった（図９）。

考　　察

産科食は、常食の献立に１品増しとし、授乳期に必要な栄養量は充足されており、朝・昼・夕の食事については、量・内容ともに充実していると思われる。15時20時のおやつでは、良いとの回答が多かったが、洋菓子に含まれる生クリーム等が乳腺に影響すると気にされる方もおり、今後検討が必要と思われる。お祝い膳については､『豪華で感動した。』『色彩がよい。』『お祝い膳に添えてあるメッセージカードがうれしい。』等の意見もあり、味付けはすべての方が丁度良いとの回答で好評であった。

結　　語

全体で満足してくださっている方が多かった。今後もアンケート調査をしながら心のこもった食事提供をし、喜んでもらえるよう取り組む必要があると思われる。

文　　献

菱田明、佐々木敏. 日本人の食事摂取基準. 2015年版. 東京：第一出版；2014. 345－53頁.

英 文 抄 録

Original article

Questionary survey of our puerperant's satisfaction with both the hospital diet for puerperants, so-called obstetric diet, and the diet for the celebration of a birth

Niigata Medical Center, nutrient department ; dietitian Tomoko Shimotori, Makiko Katagiri, Hiroko Kosaka, Tomoko Ohtaki

Objective : We have offered both the hospital diet for puerperants and the diet for the celebration of a birth from April, 2013, with which we investigated the degree of their satisfaction.

Study design : 33 cases were studied, who delivered in our hospital from April in 2013 to September in 2014. The inspection of diets consisted of a quantity, a quality, and a seasoning in 3 ordinary everyday meals and a snack at 15：20. The hospital diet for puerperants contained an excess energy based on mother's milk content, consisted of 2200 kcal and 85 g of protein in a day (photograph 1). The diet for the celebration of a birth consisted of 800 kcal and 30 g of protein per meal (photograph 2 and 3).

Results : 64% of puerperants was satisfied with our hospital diets. As to the seasoning of the diet for the celebration of a birth, 100% of cases was contented.

Conclusions : Most puerperants were satisfied with our hospital diets. We will give a heartfelt diet through the questionary survey.

Key words : hospital diet for puerperants (obstetric diet), diet for the celebration of a birth, satisfaction with the hospital diet, questionary survey

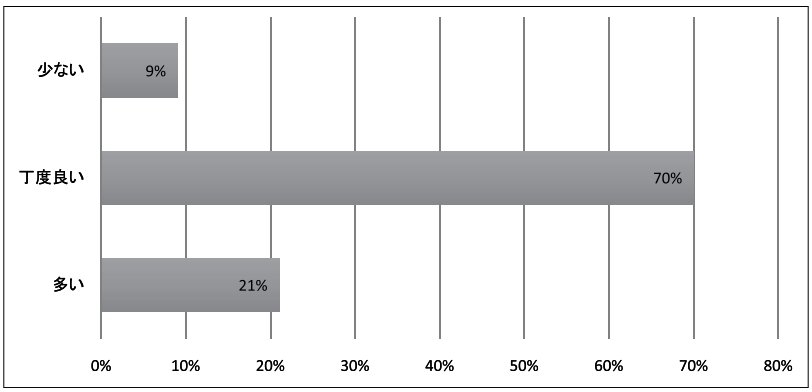

図１．朝・昼・夕の食事の量

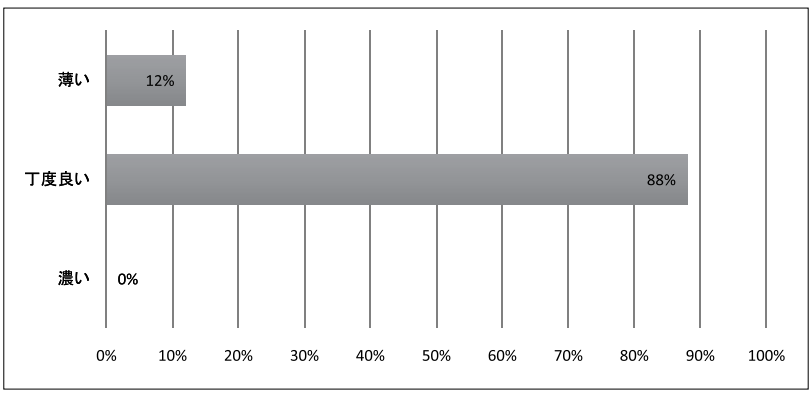

図２．朝・昼・夕の食事の味付け

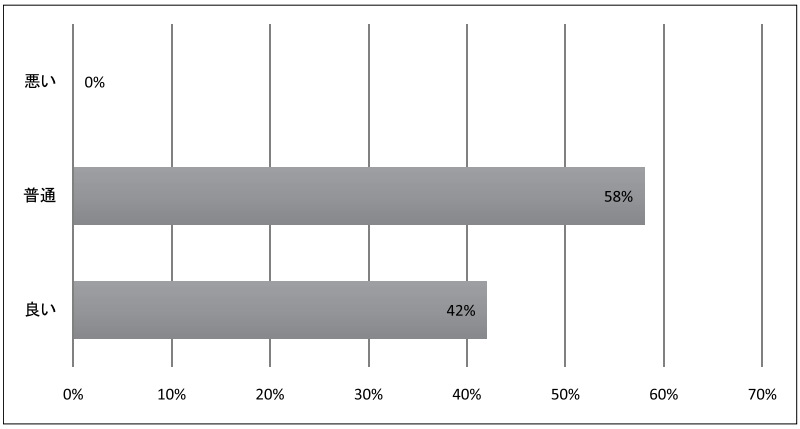

図３．朝・昼・夕の食事の内容

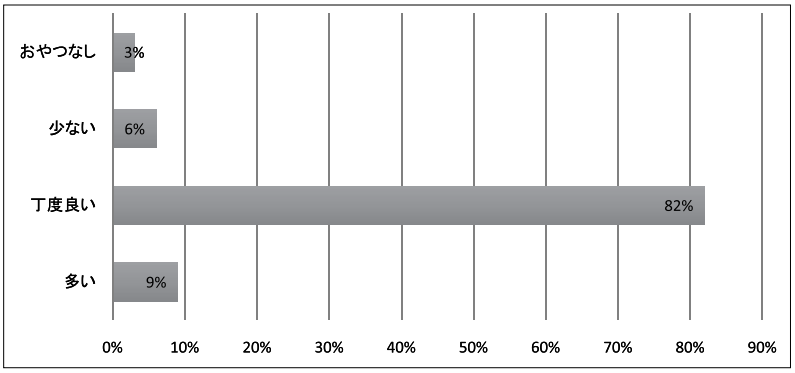

図４．おやつの量

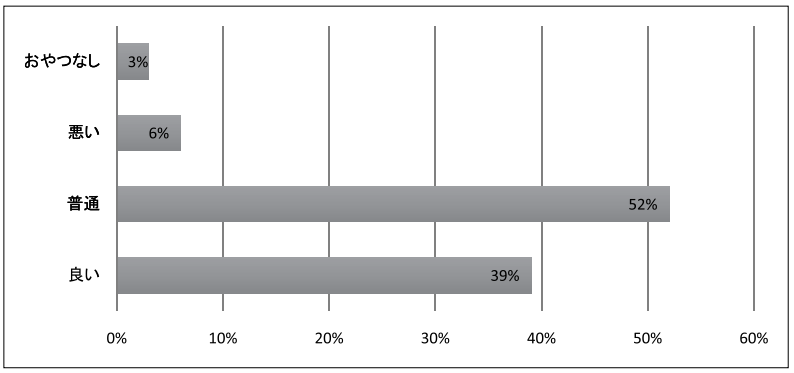

図５．おやつの内容

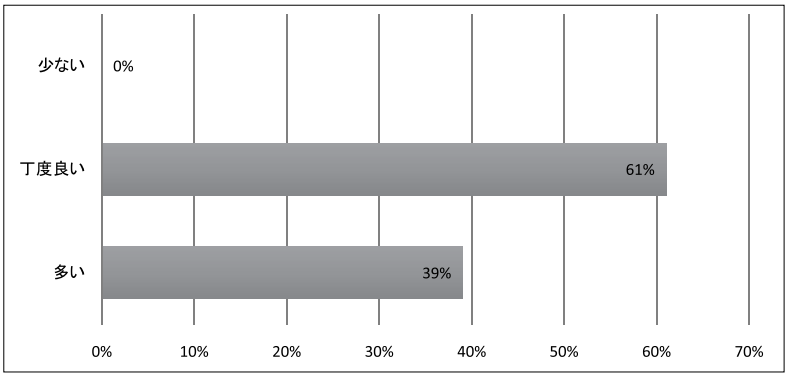

図６．お祝い膳の量

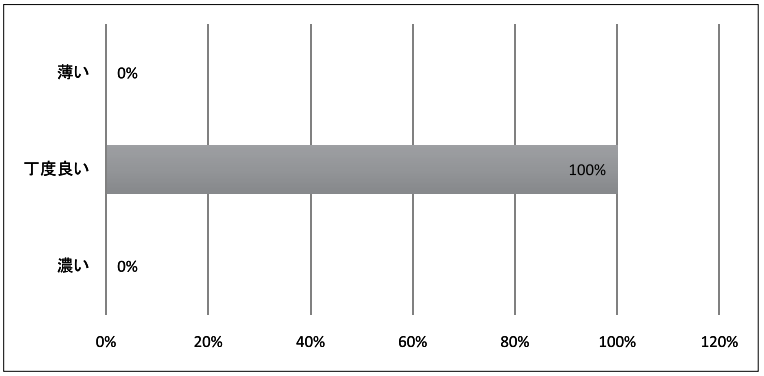

図７．お祝い膳の味付け

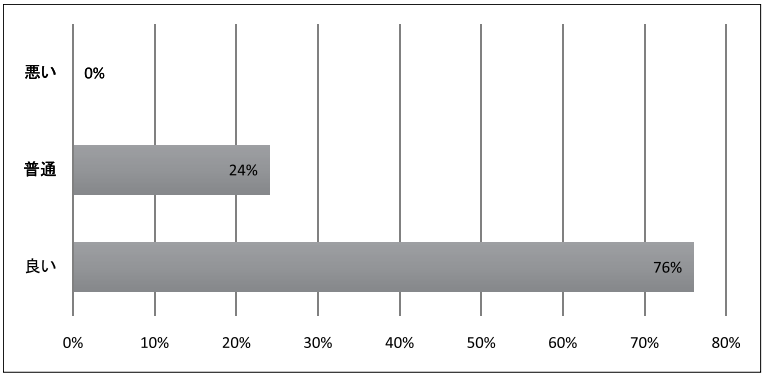

図８．お祝い膳の内容

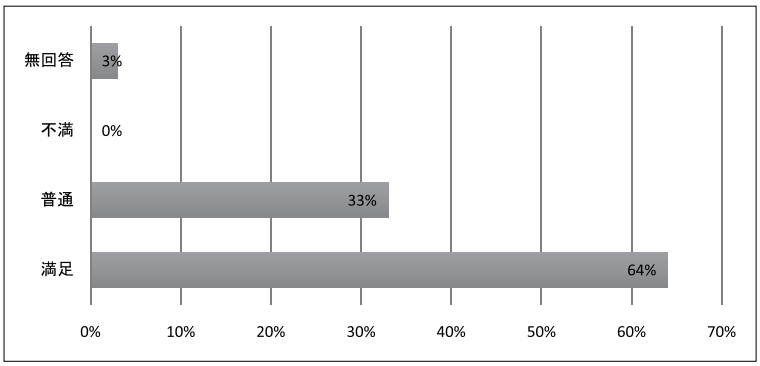

図９．全体について

写真１．産科食の一例

写真２．産科食の一例

写真１、２．産科食の一例
夕食：ごはん、味噌汁、主菜１品、小鉢２品、フルーツ２種盛り
20時追加食として：パン、飲み物
参考までにその他の産科食の献立
朝：ごはん、味噌汁、主菜１品、小鉢１品、ふりかけ、フルーツ
昼：ごはん、主菜１品、小鉢２品、ミニサラダ、デザート
15時追加食：お菓子、飲み物

写真３．お祝い膳

写真４．お祝い膳

写真３、４．お祝い膳
赤飯、味噌汁、揚げ物盛り合わせ、焼き魚、サラダ、和え物、フルーツ、ケーキ

（2014／11／20受付）